



夕刊 日八月二  
一日日曜 夕刊  
午後五時 二五時  
午後七時 二七時  
午後九時 二九時  
午後十一時 三一時  
午後十二時 三三時  
午後一時 三五時  
午後二時 三七時  
午後三時 三九時  
午後四時 四一時  
午後五時 四三時  
午後六時 四五時  
午後七時 四七時  
午後八時 四九時  
午後九時 五一時  
午後十時 五三時  
午後十一時 五五時  
午後十二時 五七時

### 平町の一大懸案 實現は當分絶望

#### 伏見前町長の置土産 役場廳舎、公會堂の建設案

（昨報）平町の十年度豫算は大體前年度に比して約一萬圓の増加額を計上し、そのうち約五萬圓を以て、役場廳舎、公會堂の建設に充てることとなつて、町民の注目を浴びてゐる。この建設案は、町長伏見前が、去る八月に、町民大會で、大體の賛成を得た。この建設案は、町長伏見前が、去る八月に、町民大會で、大體の賛成を得た。この建設案は、町長伏見前が、去る八月に、町民大會で、大體の賛成を得た。

### 我邦消防界の權威 緒形協理理事來平

#### 消防界最高の榮譽 協會表彰の前提か

我邦消防界の最高榮譽たる大日本消防協會表彰大優勝旗授與の第一候補として本縣消防協會が、去る八月に、町民大會で、大體の賛成を得た。この建設案は、町長伏見前が、去る八月に、町民大會で、大體の賛成を得た。

### 磐女の學級増加で 寄附金の分擔協議

#### 明日平町に開く石城町村長會 町村割四に生徒割が六

縣立磐城高女の學級増加に關して石城郡に制當せられた八千三百圓の負擔は、時局柄相當苦しい支出と云はれてはゐるが、平町に一任された同寄附分擔額の決定は、明日九月一日、午後一時、石城町村長會の臨時總會で附議される。この決定は、明日九月一日、午後一時、石城町村長會の臨時總會で附議される。

### 都計準備 植田町の 漸次整頓

#### 漸次整頓す 植田町では、四倉町に次いで都市計畫に乗り出し、既に着手準備を進めて、運轉も四月までに計畫法による内務省の指定を受ける。この決定は、明日九月一日、午後一時、石城町村長會の臨時總會で附議される。

### 改正選挙法 講習會

#### 平署から 両部長受講

縣警察部では、今議會の解散空気を、見越して、選挙法講習會を進めて、運轉も四月までに計畫法による内務省の指定を受ける。この決定は、明日九月一日、午後一時、石城町村長會の臨時總會で附議される。

### 仲裁人殺の加害者 佐藤本日送検

#### 加害者を殴つた市川も 傷害罪で同時に送局

（既報）舊元旦早々祝酒に泥酔した大亂闘の末、仲裁人佐藤に、市川が、佐藤の背後から、頭部を殴りつけた。この事件は、昨日、市川が、佐藤の背後から、頭部を殴りつけた。この事件は、昨日、市川が、佐藤の背後から、頭部を殴りつけた。

### 弘法様の痛い御利益 酒癖悪い信徒毆らる

#### 信徒同志の新年宴會から 散會して仕返しに行き

栃木縣那須郡境村生れ、弘法様の御利益、酒癖悪い信徒毆らる。この事件は、昨日、市川が、佐藤の背後から、頭部を殴りつけた。この事件は、昨日、市川が、佐藤の背後から、頭部を殴りつけた。

### 一家五人を支ふ青年 魚行商の健氣な奮闘

#### 老祖父と病母と弟妹を養ふ 四倉町に評判の義一さん

石城郡四倉町の本町三佐藤義一さん、一家五人を支ふ青年、魚行商の健氣な奮闘。この事件は、昨日、市川が、佐藤の背後から、頭部を殴りつけた。この事件は、昨日、市川が、佐藤の背後から、頭部を殴りつけた。

### 湯本町で 花賭博 一味三名検舉

#### 湯本町大字湯本字三頭毛布行 商内田行治（三）同町古物商千 葉久藏（六）同町助一（五）の 三名は、昨日午後七時頃、湯本町 同十一時頃まで前記内田方の 座敷で八十八と稱する現金賭 の花合せの開帳中密行の駐在 巡査が探知現場に踏み込み一 網打盡に檢舉

湯本町大字湯本字三頭毛布行商内田行治（三）同町古物商千葉久藏（六）同町助一（五）の三名は、昨日午後七時頃、湯本町同十一時頃まで前記内田方の座敷で八十八と稱する現金賭の花合せの開帳中密行の駐在巡査が探知現場に踏み込み一網打盡に檢舉。

### 江名町の婦女會 ご學藝會

#### 石城郡江名町では同町婦女會 及び小學生の學藝會を來る十 日午前十時から小學校に於て 開催各種の催がある

石城郡江名町では同町婦女會及び小學生の學藝會を來る十日午前十時から小學校に於て開催各種の催がある。

### 小僧御用 癖の悪い

#### 主人の寢室で枕探し 好間村大字上好間字元山生れ 當時平町新川町永井タニ方屋 人山下清吉（三）假名は昨年九 月中主人の寢室に忍入り枕の 下に置いた財布から拾得札一 枚を窃取何喰はぬ顔で小使に 送附した

好間村大字上好間字元山生れ、當時平町新川町永井タニ方屋人山下清吉（三）假名は昨年九月中主人の寢室に忍入り枕の下に置いた財布から拾得札一枚を窃取何喰はぬ顔で小使に送附した。

### 鹿島村教育會の 講演會

#### 石城郡鹿島村の教育會では昨 七日午後一時から下矢田分教 場にて講演會を催し、福島教育新 聞社長山本英八氏を聘して有 益な講演があつた

石城郡鹿島村の教育會では昨日午後一時から下矢田分教場にて講演會を催し、福島教育新聞社長山本英八氏を聘して有益な講演があつた。

# 蔗方回

## 甘酒漬

大根なり、蕪等なりを下漬けにして置き、仕上げ漬けを甘酒の中で行ふ方法である。本漬け物を行ふには、甘酒の送り方から下漬、仕上げ漬と順序を返して語さねばならぬのである。

甘酒には種類があつて、加工用の甘酒、即ち飲用の甘酒とつけ物用に用ゐる甘酒、即ち堅軟きの甘酒とがある。甘酒につけて用ゐる大根は、五、六分大の葉の目型、香辛葉の目に切る、葉の目に切ると、切り端が多くできる、これを塩で下つけするのである。即席につけるには、大根よりも蕪の方が早くつかれる、それは組織が異ふからである。普通の蕪は、期節外れの灰汁の多いものは之れを水、或は「ヌルマ湯」に浸して、灰汁抜きをなし、期節物で灰汁の少ないものはそのまゝつけ込むのである。食鹽の分量は、食へ鹽より少しく辛くつける、普通材料一貫目に對して塩を一合三勺乃至四勺から一合六勺を用ゐるのである。つけ方は樽の中に材料を入れて鹽を振り、一齊に掻き廻せばよい、而して中高にして廻りに蓋を置き、振盪をして、押蓋をなし、重石を置くのである。重石は一斗樽に一杯つけてその材料は切つて置くから、割合重石は早く効く、つけ汁が上まで上ればつけ直しをして重石を半分位にする、早くつける場合には、口直しの時に、上下掻き廻すのである、而して中高

として、元の通りにして置く。下つけの時期は温度の高い時は一時間、寒い時は四日乃至五日を要する、その程度は大根が軟らかくなり、そして鹽の浸み合が、内部も、外部も平らになつて、大根の生の香が少々少なければよいのである。下つけができれば、そのつけ汁で洗ひ上げて布巾で汁をふき取り、それを堅軟きの甘酒につける。

若人向、紳士向

### 冬の中折帽子とネクタイ

- 特選優秀ソフト ¥2.00
- 〆〆國産フワー ¥5.50
- セラファイック帽 ¥6.00

ツルヤ 電一四〇



内科、小兒科

## 大森醫院

醫學士 大森 勇

平町南町 電話二五八番

スペイン G・H・N 元詰

### ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平?) 西村屋藥舖 (電?)

平町紺屋町

## 藤沼醫院

電五〇七番

債券 公債 兩替 金融

## 多田井質店

平町大工町 電話五九一番

新時代の要求

附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

平町南町 電話三〇七

### 平看護婦會

會長 清野キヨ

御手不足の御家庭輕い御病人の付添妊婦産婦の御家庭

新設、電話二二二番

何卒御利用の程を

平町紺屋町一

## 上原家政婦會

(産婆) 上原通子

鼻の諸病に快鼻湯 有効保證

本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの體狀が各地から參つて居ります

能効

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨灣曲症、並に中耳炎に神効の實證を受く

(快鼻湯) 製劑販賣元 水野藥局

磐城平町一丁目(電話九九九番) 振替口座仙台(八八七六番)

代表城磐

酒銘

美味經濟 妙善の味

社會名合崎山 香十詰當

好評 噴

たる各種優秀藥

強力流經劑 (定價二圓、三圓、五圓、十圓)

治淋新劑トリックス (定價二圓、三圓、五圓)

動脈硬化 症特効藥 (藥防豫風中)

A アイヨ一錠 (定價二圓、六圓、二十圓)

B トーゲン (定價二圓、三圓、五圓、十圓)

特約店(平町五丁目通り) 山野邊藥局

(磐城共濟病院) 福島縣磐城市

内科 醫學博士 石山謙郎

小兒科 醫學博士 賀一忠

産婦人科 醫學博士 五十嵐雄二

外科耳鼻咽喉科 醫學士 大町久藏

皮膚泌尿科 醫學士 前山澤

器病科花柳病科 醫學士 石山謙

X光線科 醫學博士 石山謙

衛生試驗所 醫學士 高石

藥局長 鈴木 本 後山 寶孝 利謙

事務局長 鈴木 本 後山 寶孝 利謙

(每日午前八時より午後十時迄診療) 病室完備 入院隨意

高橋屋

食品店

高橋屋

安田系統の帝國海上

## 帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一

平町二丁目 電話一六番

事務取扱者 阿部助次郎

一般印刷物も御引致致します

新しいわき新聞社